

日本政府 内閣総理大臣 安倍晋三様
防衛大臣 小野寺五典様
在日米軍四軍調整官 ローレンス・ニコルソン様

保育園への米軍機からの落下物「事件」への抗議と要望

2017年12月7日（木）、宜野湾市内の普天間バプテスト教会付属緑ヶ丘保育園の屋根に、米軍ヘリ CH53 の付属物とみられるプラスチック製の筒が、激しい音を立てて落下しました。今回、米軍はその落下物が米軍のものであることは認めましたが、「米軍機飛行中に落下した可能性は低い」としています。

もし、落下が50センチずれていたら、園庭で遊んでいた園児たちに直撃したかもしれません。私たちは、この「事件」を受け、恐怖と不安に襲われている子どもたちや保護者の方がたの心痛を思います。「鳥の声と子どもたちの笑い声だけが響き渡る緑ヶ丘保育園になりますように」と、穏やかな気持ちで暮らしたいと、切に願う地域住民の願いに連帯し日本政府と米軍に対して抗議します。

これまで米軍機に関わる「事件」が多発していながら、落下原因も解明されずに、爆音をまき散らしながら米軍の訓練は止むことがありません。沖縄の人々は、空からの危険から逃れることができず、常に危険にさらされて生きています。また、米兵による事件や事故は多発し、女性への性暴力は連綿と続き、泣き寝入りせざるを得ない状況が続いています。長年に渡って沖縄の人々の「いのち」が軽視され続けています。過去の歴史においても、沖縄の人々に強いてきた痛みは計り知れません。

国民主権、人権の尊重、言論の自由を謳う日本国政府は、すべての国民の人権を等しく尊重し「いのち」を守る義務があります。従って、日本国政府と米軍は、この事件の真相を究明し、沖縄に集中させている米軍基地を沖縄から全て撤去すべきです。勿論、辺野古への基地移転も許されるものではありません。私たちは、これらのことを強く要望します。世界の平和を祈りつつ。

2017年12月15日

日本バプテスト女性連合
役員会、沖縄6・23推進委員会